

派遣業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	0～1	ガラス基板が入ったBOXがクリーンルームから搬送される梱包作業で、ガラス基板が入ったBOX（約24kg）をコンベアAから取り出し、そばに置いた樹脂パレットに積む作業を2回実施し、その後コンベアBまで移動し、別のBOX（約28kg）をコンベアから持ち上げ、体を回転させた際に、腰に激痛が走り、立つことが出来ない状態になった。	30	100～299
1	9～10	高さ30cmの台車に乗った木質パネルを、2名でパネル上部と下部をそれぞれ持ち同じ高さの台車に乗せ替え作業を行っていた時に、片方を持っていた作業者の腰に痛みが発生して動けなくなり、救急搬送された。	37	50～99
1	19～20	水が入ったバケツを床から右手で持ち上げ左手を添えて洗濯機に水を入れた際、腰をひねり痛めた。しばらく様子を見たが、腰部の痛みが強くなってきた。	51	300～499
1	16～17	工場内の大型コアチーム作業場で、トランス製造に於ける鉄芯準備作業中、作業台に寝かせてある鉄芯を3人1組で起こそうとした際、起こした反動で床ずれし、支えようとした際に背部と腰部を痛めた。なお、痛める以前より、元々ある持病の腰痛に違和感があり、痛みもあった。痛める前作業中に元々ある持病の腰痛に違和感があり痛みがあった。	36	30～49
1	13～14	介護者をベットから車椅子に2人で移動時（本人が介護者の頭を、もう一人（職員）が足をもって持ち上げての動作）、腰に負担がかかり、腰部捻挫・左大腿部挫傷を負った。	56	100～299
		評価試験作業現場にて、派遣先担当者より、電子負荷装置の棚整理の指示を受け、一人で作業をしており、3段棚（高さに約120cm）に設置された装置3台と		

1	11~ 12	作業机に設置された装置3台を台車に乗せる作業を行う。そのなかで、棚最上部に設置されていた最後の装置1台（重量約15kg）（幅455mm×高さ150mm×奥行470mm）を降ろすため持ち上げたところ、急に体のバランスを崩したことで体が右側へよじれ、無理な体勢を立て直そうとしたところ、右肩痛・背中痛・腰痛が生じた。	48	100~ 299
1	17~ 18	自動車用部品の組立カシメ作業をしていたが、入社して間もない為、カシメ機械の扱いになれておらず、肩と腕に無理な力がかかり、肩と腕を損傷し、1ヶ月間の局部安静治療となった。	31	30~ 49
1	13~ 14	不動産担保物件調査をする為、店舗出口から駐車場へ出る時、ブロック2個置いている場所で左足がブロックにかかり、着地した際に左足ふくらはぎの肉ばなれを負った。	68	100~ 299
1	15~ 16	構内作業場、荷物が載っていない台車を移動させようと引っ張った際、左肩に痛みが走った。	50	30~ 49
1	8~9	鉄製品のバリ、返り取り作業工程に従事している際、非常に製品のバリが取りにくい箇所もあり、ヤスリを当てる角度によっては手首をひねった状態で力を入れ作業することが多くあり、手首の痛みを感じた。	29	100~ 299
1	16~ 17	作業場にて、普段より少し重い1.75kgの導波管を伸ばす作業をしている際、両足を踏ん張り導波管を引っ張っている時に、腰の周辺の筋を捻ってしまい、腰痛を引き起こした。	50	—
1	8~9	デイサービスの利用者の送迎で車両の運転をしていた。当該車両は1ヶ月前より助手席側のスライドドアが日によって開閉不良を起こすことがあった。当日朝、迎えに上がった際もドアの開閉が著しく悪く、地面に踏ん張り、両肩にも相当な力を込めて開閉した。このような事があと4件続いたため、両肩・腰を捻挫した。	67	500~ 999
2	11~12	派遣先で、患者様の体勢がベッドの下方へ崩れていたため、身体の下にバスタオルを敷いて向きを直し整える際、自分側に患者様の身体を引っ張り直すのに身体の高い患者様だったため力を入れ過ぎて肘を痛めた。	56	100~ 299

2	16~17	コンプレッサー組立ラインでタンクに圧縮機を取り付け、そのタンクをラインから持ち上げる時に体をひねってしまった。その際に痛みが出た。前年に階段から滑り落ちた時に腰を痛めていたので、気を付けて作業していたが、筋肉を痛めてしまった。	23	100~ 299
2	13~14	本社に派遣中の事故である。自動車部品を入れるパレット（1100×1100×150mm）重さ約20kgを両手で持ち上げようとしたところ、誤って右手小指先端の関節が逆方向に曲がり負傷した。小指に違和感があったが、その日の作業を終え翌日も就業した。途中痛みが出たしたが、現場の判断で定時まで従事した。	42	50~ 99
2	9~10	コンビニ向け飲料水のピッキング・補充作業に従事していた。1日当たり重さ約10kgの商品（飲料水）の棚入れ（20箱/h×3.5h）および缶耐ハイ6本の袋詰めを30分（0.5h）をしていた。前月下旬ごろから背中に痛みが生じ、暫く様子を見ながら終業を続けた。その後起床時に患部の痛みが酷く受診したところ、左胸部下肋骨挫傷と診断される。	43	500~ 999
2	5~6	配送先の店舗にて荷降しをする際、トラックから降りようとしたところ、着地した地面の所に凹みがあり、右足首を捻り、負傷した。	39	500~ 999
2	14~15	被災者は、レストランホールの洗い場にて、食器入りの食器カゴ（重量：約7.5kg）を食器棚に戻そうと食器棚へ運んでいる途中、カゴを落としそうになった為、足を踏ん張ったところ、右膝を捻ってしまい右膝関節靭帯を損傷した。	24	10~ 29
2	4~5	入居者居室にて、排泄介助拒否があり、なかなか行えなかった。体を上の方へ持ち上げ、体位変換を行った。その後立ち上がる際に、腰がパキッと鳴った。ベッドが最低床で行っていた。	39	—
2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	30~ 49
2	16~17	仮庁舎にて管理職の机横にある棚より特許出願等使用を取り出し（角2サイズの袋10kg以上）、縁なしキャスター付テーブルにて職員机の間を中腰で運搬しパソコンに入力後、別棚（両棚の間50cm程）へ狭い為非常に無理な中腰姿勢で格納後（数日）、激しい頸部痛が発症し終業後も治まらず医療機関を受診した。	52	—

2	17~18	商品管理センターにて使用済みの福祉用具（置き型手すり）のメンテナンス作業を行っていた。手すりの土台部分の鉄板（20kg程度）を作業台へ移動させる為、持ち上げようと力を入れた際、腰に痛みがはしった。	45	100~ 299
2	13~14	ホーム付けの入出荷が出来る所で、顎の高さ位までの高さに積み上げたプラスチックの箱10段を重ねたコンビニの弁当が入っている荷物を鉄のカギ棒でホームからトラックへの積み込み・積み降ろしの作業中、段差があるため60kg~100kg近くある荷物を持ち上げながら引っ張ってトラックに積み込んでいる時に右腕背部に痛みが走り、右腕は内出血までしていた。かなりの重量の荷物を倒さないように早く引っ張ってやらなければならない、筋肉に負担がかかり激痛が走るようになり仕方なく退職した。	47	30~ 49
2	13~14	派遣先工場内の作業場にて冷凍わさびの茎が入ったプラスチック製のトンカチで叩きほぐす作業中、右手首（付け根~指先にかけて）に痛みを感じたがその後も作業を中断せずに続けた。帰宅後右手首（付け根~指先にかけて）が腫れ上がった。	46	300~ 499
2	13~14	派遣先のフロアに有るテーブルの前で椅子に座っている利用者と立膝をつき談笑をしていた。その際、テーブルの後方に有る洗面台を利用していた男性がふらつき転倒しそうになったので、とっさに立ち上がり男性の背後から抱え込むように抱き上げた際、左肩に激痛を感じた。	38	100~ 299
2	14~15	自動車部品のプレス加工工程で、機械からプレスされてきた部品を横の箱に入れる作業中、部品が取出し口に溜まった場合は機械を一時停めて作業することになっていたが、溜まらないよう多めに部品を持って急いで運び、その際に左膝をひねって負傷したものである。	40	50~ 99
2	15~16	プレス機械を操作中、後方では他の作業者が台車に鉄板シートの積み替えを行っていたが、積んでいるシートの安定が悪く、滑り落ちそうになったので他の作業者がシートを支えに行った時に台車が動き、動いた台車がプレス作業当業者の右足後部分に触れた。不意のことに驚き、力んだ際に腰を痛めた。	33	100~ 299
2	9~10	容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を受傷した。	48	10~ 29

2	16~17	工場内で運搬台車に立て掛けてあったステンレス鋼（重さ30kg）の板材を両手で上へ引き上げた際、右手首に痛みを感じ、その痛みがその後に継続した為、業務終了後に病院に行った。	29	50~ 99
2	10~11	クリーンルーム内において、製造ラインを稼働させる準備作業をしている時に、機械に用いられる20kg程の底フィルムを台車で運搬するために膝を曲げ、中腰の状態ですら両手で持ち上げた時に左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	50~ 99
2	13~14	ホテルでの客室清掃中、ユニットバスを清掃後、部屋に行く為左足から段差を降りようとしたところ、敷いてあったマットで足が滑り、大腿部を捻り受傷した。	42	100~ 299
2	12~13	被災者は、作業場で自動車開発部品のメーターカバーを取り付け作業を行っている時に慣れていない作業だったので、力を入れ圧着した際、両手首に痛みを感じた。また、コネクタを結線する作業もあり、中指に痛みを感じた。	41	100~ 299
2	9~10	グループホーム施設内で高齢者の方をトイレに誘導する為、座っていた椅子から車椅子に移乗しようと、屈んで、高齢者の方を支えて立ち上がろうとした時に腰に痛みがはしり、そのまま床に腰を下ろして座り込んだ。当日は我慢してそのまま終業時間まで就労した。翌日も痛みがあるも出勤した。しかし、右足の痛みが強くなった。以後は自宅で静養した。その後、3日間出勤したが、右足の痛みを我慢していた。次の休日に足の痛みが酷くなり、立位も困難になり夕方に受診した。翌日も勤務したがいよいよ痛みが強くなったので、その次の日から欠勤した。以後、歩行も厳しい状況となり、現在に至る。	62	100~ 299
2	6~7	自動車の製造工場内にて、車両内に上半身を入れながら各種部品の組付け作業（ステアリング下部の配線、シート周辺カバーの取付け等）を行っていたところ、左胸に違和感を感じるようになった。筋肉痛だと思い、そのまま作業を続けていたが、後日早朝、左胸に強い痛みを感じたため、医師による診察・治療を受けた。	37	50~ 99
		被災労働者は、レジ打ち業務中に、缶ビール（500ml）の6缶パック（重さ約3kg）の上部にある把手を左手でつまむようにして持ちながら、買い物カゴの空いているスペースに置こうとした際に、そのスペースに合わせようと左手首を		50~

2	16~17	捻りながら置いたところ、左手首を痛めてしまった。その時は痛みを我慢できたが、その後痛みが増してきたので、しばらくして整骨院で施術を受けて休業することになった。	23	99
3	20~21	業務内容は自動車のフロントドア組付、及び周辺部品の組付を行っており、左手での作業が多い。左肩付近に軽い痛みがあり、そのあと痛み増して左肩が上がりなくなり、左鎖骨骨折と判明した。	29	300~ 499
3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	100~ 299
3	16~17	本社工場にてオイル缶の入ったダンボールをパレットに積む作業中、次のパレットを用意するために壁に立てかけてあるパレットを動かそうとした。両手で作業するところを片手（右手）でパレットの左端を持って動かそうとしたため、右手首に負担がかかり捻った。帰宅後に痛みと腫れが生じた。	36	50~ 99
3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	50~ 99
3	14~15	梱包作業所で梱包済みの小さめのダンボールを机からパレットに移動する際、肩幅より小さい幅のダンボールを持ち運ぼうとしたところ、大きさから予期できない重さ（15kg以上）があり、抱えきれず反動でパレットに置くときに腰を捻り、強い痛みが腰にはしった。そのあと痛みで早退したが、強い痛みが引かず、コルセットでの腰固定やリハビリが必要となった。	54	100~ 299
3	15~16	搬入作業先駐車場にて、コピー機の搬入作業中、上下2つに分かれていた機械（重さ100kg）を連結するため、同僚社員と二人で持ち上げた際、重さのためもう一方の相手が後にのけぞってしまったため、被災者もそのはずみでバランスを崩して右前方に引っ張られ、右の腰・わき腹付近を強く捻り負傷した。	40	50~ 99
3	12~13	派遣先工場内において、プレス設備で容器に入っている材料を持ち上げ、別の専用容器に材料を入れる作業を繰り返し行い、腰部を負傷した。	55	500~ 999

3	14~15	弊社2階において、弊社製品クーラー（30kg程度）を1Fに移動させるため、ハンドリフトに製品を下ろす際に腰に痛みを感じた。当日は引き続き作業を続けたが、翌朝に痛みで動けなくなった。通常は2人作業で行っているが、当日は作業員1人が休んでいたため、1人で作業をしてしまった。	49	300~ 499
3	18~19	野菜処理室で、野菜を倉庫から野菜洗浄室に運んでいた際、清掃のため排水溝の蓋が取り除かれていたのに気付かず、右足が排水溝に落ち、体のバランスを崩し右膝を捻挫した。	51	100~ 299
3	10~11	引越作業の為、台車からトラックの荷台にダンボール箱（50×50×70、30kg）を積み込もうと持ち上げた際、無理な体勢で持ち上げてしまい、腰を捻挫した。	33	100~ 299
3	17~18	集配補助として荷物を取り扱っていた際、左足に過度に負担をかけて作業を行い被災した。	37	50~ 99
3	13~14	当社派遣就業先の訪問介護にて業務中、高齢者向け住宅施設内で利用者の入浴介助終わりの対応時、立位のとれない女性利用者をシャワーチェアから簡易ベッドへ移乗する際、全体重を抱えた際に足を踏ん張り、右足に違和感を覚えた。	57	50~ 99
3	19~20	トラックと構内ホームの隙間を埋める鉄板を移動していた際、手に持っていた鉄板が安全靴と指先の合間に滑り落ちた。	27	30~ 49
3	8~9	派遣先に出社後、朝のラジオ体操に参加しようと場所を移動していたところ、通り道であるフォークリフト置き場（コンクリート）の穴に気がつかず、左足が穴にはまってしまい、左足のくるぶしを負傷した。	53	300~ 499
3	11~12	薬品会社にて、薬品の含んだ溶液をポリ容器にて施設の2階へ運ぶ途中に足を段差に躓き、入っていた溶液の水滴が目・唇にかかり、角膜細胞の損傷、唇の湿疹を負った。	56	300~ 499
3	10~11	朝、研修資料の入ったダンボールの積み上げる作業を開始した。本人は、肉体労働が難しいことを伝えていたが、当初35箱の予定であったため、協力しながら重量のあるものを自分の身長より高い位置にも積み上げていった。途中で急	51	1000 ~

		遽追加があり、合計で122箱を全員の流れ作業により完遂させる指示が出たため、痛みを感じながらも作業を継続したところ、左腕に痛みと痺れを発症し、左腕が動かなくなった。		9999
3	9~10	液体窒素補充場所にて、補充タンク2本を両手に持ち補充場所に運んでいた。タンク2本を補充場所に降ろす際に腰に激しい痛みがはしり、背骨がグキッとなった。	37	100~ 299
3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	100~ 299
4	17~ 18	派遣先コンクリート工場にて、型枠にスコップを用いて生コンを補充していた際、左ひじを痛めて左上腕外側上顆炎と診断された。	60	50~ 99
4	0~1	品質管理室で樹脂を入れたガラスのカラムの側面を叩く作業を、1日に長時間継続して行っていた。そのため肩や肩甲骨の筋肉が炎症をおこし、背中・首・腕等に痛みが生じ、動かすことができなくなった。	40	50~ 99
4	7~8	利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。	40	500~ 999
4	14~ 15	施設3階、左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。徐々に右膝が痛み始めて、ひねる、曲げる等の動きができない状態となり、後日に右膝関節の捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	10~ 29
4	8~9	2階利用者居室にて、女性利用者を2名介助でベッドからリクライニング車イスへ移乗の際、利用者の上半身を支えていたときに体勢を捻って、右肋骨を骨折した。	55	100~ 299
4	10~ 11	入職以降、連日3時間程度、5~20kgの商品の積み込みを中腰状態で繰り返していた為、徐々に腰に負担がかかり、腰痛を発症した。痛みをこらえ就業するが痛みが悪化し、腰部捻挫および背部挫傷と診断された。	55	30~ 49
	17~	終日、床にマスキングテープを貼る作業をしていた。起居（立ったり座った		100~

4	18	り)による屈伸の繰り返しにより両膝を痛めた。筋肉痛と思い様子をみたが、翌朝に膝の痛みが強くなった。	58	299
4	3~4	納品先店舗へ商品が入ったカゴ台車を運搬する際に、トラックのゲートを降ろし、カゴ台車を押し始めた時に台車のタイヤ部分が地面の窪みに引っ掛かりバランスを崩した。慌てて手で支えたが重さがあるのでそのまま台車は倒れ、左手首の筋を痛める。	48	10~ 29
4	11~ 12	フードコート内の冷蔵庫にて、高い所に積んである商品(チャーシューのコンテナ)10kg程度を取る為上に積んである他の商品を降ろしていた。何個めかの荷物を取る為、手を伸ばして荷を持った時に腰に激痛がはしり、腰椎椎間板ヘルニアの疑いがあると診断された。	41	1~9
4	11~ 12	取引先よりパレット積みされた組立部品(約12~18kg)が工場建屋外の納入場所に納入された。その組立部品を手押し台車に積み替えて工場内の棚に移動するように指示された為、パレットから台車に移動するため中腰の状態を抱えた際に、腰部にかけて痛みが生じた。	46	100~ 299
4	10~ 11	第5工場溶接ラインにてスポット溶接機オペレータの作業中、部品の入った約10kgのコンテナを定位置にセットするため腕を伸ばしたところ、腰を痛めた。1時間ほど痛みを我慢し作業を続け、休憩中に動けなくなった。	30	50~ 99
4	9~ 10	工場内1F外のピットにて高さ70cm幅120cm奥行70cmのタイヤ付きのタンクの水を捨てる為、持ち上げようとしたところタンクが前方に動き、つかもうと手を伸ばして前屈姿勢になったところ、腰の左側部分に痛みを感じ、そのまま動けなくなってしまった。	31	100~ 299
4	10~ 11	屈んだ状態で入浴介助をしている際、右半身に痺れが走り、腰部も痛めた。様子をみたが痛みが引かず、頸肩腕症候群と診断される。	50	500~ 999
4	17~ 18	勤務が終了し、帰路につく為2Fプラット横の階段(5段)最後の一段を下りる際、予想以上に高低が有り、バランスを崩した時に体重が右足首にかかって無理な姿勢で足首を捻り捻挫した。	26	500~ 999
4	9~	デイサービス送迎中に車から降りた際、一人で足を捻り骨折した。	29	50~

	10			99
4	14～ 15	工場内で、約25kgの鉄缶の荷物を両手でトラックへ積もうとしてバランスをくずして、左手首に過重がかかり、左手首を捻挫した。なかなか痛みが取れず、その後、神経（筋）の損傷が判明した。	56	50～ 99
4	16～ 17	工場内で、裁断された硝子をもって、所定の場所に置こうとした際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	100～ 299
4	14～ 15	配送先1にて、2tトラックより荷下ろし作業中、荷台より荷物を引き出す際に、荷物が段差に掛かり腰を捻る。配送先2にて（1、2は同日）、配送先1での腰の痛みは大した事ではなかったため、従業員と共にアルミ鋳物製品が入った木箱（約20kg、9個）の積み込み中に、距離約7mを手持ちで移動・積み込み、腰を痛めた。	54	500～ 999
5	14～ 15	配達先にて商品を届け終り、手ぶらで階段を上がって戻ろうとしている時に左足に痛みを感じた。	56	50～ 99
5	14～ 15	被災者は、4P納豆をラインから取りケースに入れる作業を行っていて、他の従業員の方々は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	100～ 299
5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落しそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	100～ 299
5	16～ 17	第2棟の自動検査室内で自動検査機が判別して保留となったワークが下に落ち保留品箱に入る。この保留品箱がいっぱいになったので再投入する為、機械の下の方にある保留品箱を持ち上げようとして腰痛になった。ワークの重さは約65g/1本、保留品箱には約200本入るので1箱の重さは約13kgである。	34	300～ 499
5	11～ 12	トナーの機械に部品をはめようと機械下部にあるレバーを左手で引きながら右手で上部を押さえこんだところ、右手人差し指を機械に挟み受傷した。	25	500～ 999

5	10～ 11	昼食を食べに食堂へ移動する時に雨が降っていて通路の水たまりで滑って右足の膝を捻ってしまった。	46	100～ 299
5	10～ 11	職場の洗車場にて普通車の洗車作業を行っている際、肩の痛みが発生した。洗車作業の肩を使った反復作業が原因と思われる。	62	—
5	5～6	ラベル貼りの作業を1日従事しており右手甲の部分が腫れた。4日ぶりの作業で腕が腫れて、最初は筋肉痛だと思ったが腫れと痛みが引かない為、本人より連絡があった。	42	500～ 999
5	3～4	トラックから店舗へ氷のダンボールを運び込む際の階段の昇り降りて腰を痛めてしまった。	39	500～ 999
5	11～ 12	利用者居室内にて起床時、ベッドから車椅子に移乗した際にいつもより重いような違和感を左背部に感じ、その後入浴介助中に激痛が走った。	46	300～ 499
5	17～ 18	2階乳児室テラスにて、園児とボール遊び中、両膝の間にボールを挟みジャンプして着地した際に右膝をひねる。	63	1～9
5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	100～ 299
5	20～ 21	トイレに行くため、加工現場の踏み台を降りた時、左足を捻り受傷した。	35	100～ 299
5	13～ 14	口糊部門にて、パレットに積んであった作業予定の封筒が入った段ボールを糊付けする機械前まで運ぶ作業中に、縦に積んであった2箱で約10kgの段ボールを素手で両手で持ち、隣の高さ120cmの荷物越しに段ボールの移動を行った。通常通りの作業であったが、4箱を運んだあたりから右肩に違和感が出て10箱を運び終わった際にまだそれが残っていた為、肩をほぐそうとしたらパキッという音がし、痛みが強くなった。	44	30～ 49
5	16～ 17	重量物（ガラス枠）の部品チェック作業中、付属部品に目をとられてバランスを崩し、腰部及び背部（上部）を負傷した。	28	100～ 299
		以前から重量20kg程度の製品の入った箱を扱っていた為、腰の痛みがだんだん		

5	19～ 20	酷くなってきた。当日は1つのラインから左右に製品が出てくる作業で、加工する台が左右に分かれていたため左右交互に作業を続け、腰が固まった様になってしまった。	27	10～ 29
5	16～ 17	作業中、本人の横で他の従業員が商品に対し機械で絞りをしていた時、機械の中の材料が少なくなったため補充をしようと思い、材料が入った番重を持ち上げようとした時に手が滑り、右手首に痛みが走った。	41	30～ 49
5	9～ 10	就業先の3階から、入館証の写真を撮る為に1階に移動中、3階から2階に降りる階段において説明を受けながら降りていた為、説明に気をとられて足元に注意が行かず、階段を踏み外して両足首を捻挫した。	45	1000 ～ 9999
5	16～ 17	資料を文書保存用段ボールに詰める作業を継続して行ったため、腰を痛めた。	41	300～ 499
5	15～ 16	作業現場（倉庫）でパレットに乗っているエアコンの室外機を作業台へ運ぶ際、パレットに足を引っ掛けた。転倒しないように踏ん張った際に左ふくらはぎを負傷した。	46	10～ 29
5	11～ 12	お昼休憩に行く際、階段を下りる時に足を滑らせてしまい、階段を踏み外してしまった。左手をついてかばったが、お尻もついてしまい、左手中指と薬指を打撲し、尾てい骨を骨折した。	39	30～ 49
5	14～ 15	作業中に階段を降りていた時に足を捻り、左足首を受傷した。捻挫と思いそのまま仕事を続けたが、終業後も痛みと腫れが引かなかった。	58	300～ 499
5	21～ 22	ロス材を投入する作業をしていて、ロス材のパレットが1/3程度減った時点で大きく曲げた上体を起こし、体勢を戻した際に腰を痛めた。2日前からレザーロス材の手持ち移動の際に腰の違和感を感じていたが、作業を続けていたため今回の災害発生となった。	36	30～ 49
6	16～ 17	帰宅するために加工場から出て、外側部分にある階段を下りる時に、バランスを崩して左足を挫いてしまった。	46	100～ 299
6	6～7	タルトの製造ラインで、流れてくるタルトをケースに入れ、台車にのせる作業をしている時に、タルトが溜まってしまい、焦って普段よりも多く持ってし	46	30～ 49

		まった状態で、左腕を痛めた。		
6	20～ 21	工場にて、リアデフ製品組立作業中、ハンドル（専用工具）を使用し締付作業をしていた。流れてくる製品の中にはネジ山が合わず、ネジ山を一度緩め合わせた後、締付作業をすることがある。締める作業は、右手でハンドルを持ち、左手をハンドル下部に添えて手前方向に一気に力を加えるが、ネジ山が緩んだ瞬間、その勢いで左手首を捻り関節を負傷した。	21	500～ 999
6	11～ 12	作業場入口で洗車時、車の屋根部分の拭き取り作業を終え、脚立から降りる際、足を踏み外し、体を捻りながら着地した為、腰を痛めた。	67	100～ 299
6	10～ 11	ナースステーション内で、食事を終えた患者を車椅子で病室へ1人で連れて行き、車椅子からベッドへ移乗する際、立ち上がって足を踏み込んだところ、重心が左膝に乗り、さらに患者の体重もかかった為、激痛がはしった。半月板損傷と診断された。	56	50～ 99
6	14～ 15	エアコンウエスト工場内の組立ラインとパレット置場の間にて、組立用の本体が入った箱をローラー式の台車へ移すため、箱を手前に引っ張った時に腰を痛めてしまった。	53	500～ 999
6	14～ 15	車両荷台からクールボックスを押し出す際、右脹脛に痛みを感じ受診したところ、肉離れと診断された。	52	500～ 999
6	11～ 12	派遣元に入社して受入教育を受けた後、当該実務に従事して3.5日目の午前中に、銀シートが入ったダンボール箱（400mm×400mm×100mm、約20kg）を開封するためにパレット（高さ150cm）に載った所から床面に降ろそうと、両手でダンボール箱を持ち上げた時に、左手首に違和感があった。以降の作業においては、左手首から前腕内側にかけて痛みが伴っていたが、作業を継続した。家に帰ってからは痛みのためにシップを貼り就寝したが、翌朝には腫れも生じていた。	43	300～ 499
6	16～ 17	場内において、プラスチック製のパネル台に、バッテリーパレット（重さ7～8kg）の製品を移動のため積み上げ作業中、13枚目当たりをパレット上に持ち上げて、右足で支えたところ、パレットの上面が壊れて怪我をすることとなった。	32	100～ 299

6	15~16	カット済みの木製材料を5枚（7kg程）重ねて持ち、5m~10m程移動し、仕掛品置場のパレットに種類別に並べる作業中、材料を持とうとして腰に痛みがはした。痛みがひかず歩くのもままならない状態であったので、その日は早退した。翌日に病院を受診し、痛み止めの注射を打った。その後も通院を続けたが改善が見られず、動くのもつらい状態となり、後日に救急車で病院へ搬送され、腰椎圧迫骨折で全治1ヵ月の診断を受けた。	50	100~299
6	11~12	工場にて、完成品が載った台車をトラック出荷エレベーターへ運ぶ際に、2人で運ばなければならない運搬を1人で運搬している作業者を見つけ、その台車がエレベーターにぶつかりそうになったので止めに走り、力を込めて踏み込み、台車を止める際に「ぶちっ」という音と共に肉離れになった。	41	—
6	3~4	1階エントランス風除室にて、6尺の脚立に乗って仮設天井養生復旧の確認後、脚立から降りた時に右足脛に違和感を感じ、痛み出し、右腓腹筋肉離れとの診断を受ける。	65	10000~
6	9~10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようとしている際、腰を捻りヘルニアを発症した。	63	1000~9999
6	14~15	Aラインのスライサー後ろのコンベアーのコードに腕が絡まった状態で反転した為、腕を痛めてしまった。	40	100~299
6	13~14	事業所内で作業中、材料の入っているダンボールを持ち上げた際に、腰がギククとなり電気がはしたが、作業中でもあり、気も張っていた。帰宅後、寝て、朝痛くて起きられなかった。ギクク腰を発症した。	38	100~299
6	8~9	朝食後入居者様を居室へ誘導した後、ナースコールに対応するため部屋を出ようと、咄嗟に左方向へ体の向きを変えた時、右足の膝折れが起き激痛を覚えたが、1~2分じっとして、その後歩く事が出来たので、痛みはあったが右膝をかばいながら、なんとか1日過ごした。翌々日朝から、立つこともしゃがむことも激痛で困難になった。	56	50~99
	17~	工場内2階包装室にて、第4包装室から第1包装室へ入る階段で歩行中、足を踏み		500~

6	18	外して前方に倒れそうになったため、階段に手をついたところ、右手首を骨折した。	55	999
6	16～ 17	化粧品が入っている箱（重さ25kg）を床に下ろす際、ゆっくりと床に置くために腰に力が入り、腰部を痛めた。数日間、痛みが引かなかった。	44	500～ 999
6	14～ 15	屋内フットサル場にて、社内研修の一環として実施した社内運動会にて、競技スタート後すぐに競技用の綱に引かれて左手首を逆に反らしたため、左手首を負傷した。当日は痛みもなく、事業者等への報告をしなかった。翌日に腫れが見られたが、2～3日後に腫れは引いたため、捻挫を想定した。その後、医療機関を受診したところ左舟状骨骨折と判明した。同日、派遣先、派遣元事業所に本人から報告があり、事故発生を確認したものである。	46	1000 ～ 9999
6	9～ 10	日勤開始後、床置きされた3台のコンデンサ（W150×D570×H400mm、重さ24kg）を手で持って、約5m先の台車に一人で運ぶ作業をしていたところ、2台目を持ち上げた瞬間に腰に痛みを感じ、一旦は下ろしたが持ち直して再度台車まで運び、痛みはあったが3台目も一人で運んだ。その後も痛みはあったが、デスクワークのため作業を継続し、昼休憩時に痛みが酷くて動けなくなったため、病院へ搬送された。本来の手順は装置の表示重量を確認し、20kgを超えている場合は必ず二人作業とするところ、重量を確認せず一人で運んだことが原因と思われる。	31	100～ 299
6	18～ 19	ペッカー作業場でコンベアから製品をパレットに移していた際、手に持っていた製品が落ち、それを避けようと右足を後ろに避けた時、後ろにあったパレットの蓋に足をぶつけて、踵を打撲した。	27	30～ 49
6	17～ 18	工場荷受け出荷場付近にて、空箱を積んだパレットをリーチフォークリフトで積み下ろし作業を行っていた。フォーク（爪）でパレットを持ち上げ、バック走行を行おうとした時に突然、右足首に痛みを感じた。直立姿勢で体の捻りや打撲、何らかの接触等もなく、突然の痛みであった。	44	50～ 99
6	17～ 18	出荷する荷物を台車で運んでいたところ、床に凹凸があり、台車のバランスが崩れ、荷物が落ちそうになった。それを防ぐために足に力を入れた際に痛めた。	46	100～ 299

6	19~ 20	就業先の3階で勤務中、利用者を抱えて移乗する際に腰を痛めてしまった。激痛だったため、勤務終了後に整骨院に行った。翌日も痛みが強く、骨に異常は無いがぎっくり腰と診断された。	45	100~ 299
6	8~9	派遣先である工場内で豆腐の製造中、豆乳の入った型箱をプレス機のレーンに乗せるため持ち上げようとした時、型箱を載せた台車を足で押ししまい台車が動いた。台車から少し離れた状態で持ち上げようとしたため、通常作業時より異常な負荷が腰に掛かり、腰を痛めてしまった。	26	10~ 29
6	14~ 15	営業先のモール内で、従業員用通路の階段を下りていたところ、足を踏み外して右足を捻挫した。	29	10000 ~
6	9~ 10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	100~ 299
7	4~5	屋内で、郵便物の積み込み作業中、重量100kg程度の、荷物の入ったBOXを、台車から、2名体制でおろそうとしたところ、右腕に重量負荷がかかり右腕筋肉損傷。おろそうとした際、右腕に荷物をのせたことによるものである。	49	100~ 299
7	4~5	右腕を怪我する前日に左肩に痛みを感じており（診断名は左肩腱板損傷）、それをかばいながら、派遣先の倉庫内で郵便局の仕分けする荷物（重量は100kg程度）を台車から2名体制でおろそうとし、右腕に荷物を載せたところ、重量負荷がかかり、右腕筋肉も傷めてしまった。	49	100~ 299
7	14~15	C棟で、トラックより2枚硝子付サッシ（窓枠）を2名体制でホーム上にある台車まで運んで乗せる作業を何度か行っている際に、腰に違和感を抱いた。	28	10~ 29
7	13~14	ビジネスホテルの客室整備中にてユニットバス清掃後、床面にあったタオル類に足が乗ってしまい足元が滑った。その時に転倒し、右足外側のくるぶしを打った。その後、作業して帰宅したが、翌日、痛みが引かなかった。	44	100~ 299
7	11~12	派遣先事業所内に於いて、塗装部品検査の前の準備作業中、台車（高さ15cm）に7段積みで載っている自動車用プラスチック部品が入っている段ボール箱（45cm×30×25、約5kg）を上から順番に一箱ずつ床に降ろしているとき、最後の7箱目を降ろすため、しゃがみながら段ボール箱を両手で持った時、腰に急	41	100~ 299

		に負荷がかかり、その際負傷したもの。		
7	11~12	冷蔵庫内で冷凍鶏肉1箱（12kg）をパレットからカゴに移し替える作業をしていたところ、鶏肉を持ち上げた際に腰を痛めた。	31	100~ 299
7	16~17	通常の就業場所の冷蔵室にて、スープの入った寸胴鍋（重さ20~30kg）を移動させようと二人で持ち上げたところ、被災労働者の腰から背中にかけて激痛が走り、その場で崩れるように倒れてしまった。	50	1000 ~ 9999
7	9~10	作業が終わり工具を保管するために、ビニール袋に入れ、固定のために少し太い輪ゴム（市販品）をかけた時、輪ゴムが切れて作業者の右目に飛んで来て当たった。	47	100~ 299
7	14~15	満席のレストランのダイニングにて、お客様のテーブルへセッティングサービスのため、右手に15cm×20cmの皿に、ナイフ2本、フィッシュフォーク2本、フィッシュスプーン2本を持って、高さ15cm程の階段を3段上ったところで、階段下の別のお客様から呼びかけられ、振り返ったところで、右下腿部を挫傷した。	33	—
7	13~14	ご入居様を車椅子からベッドへと移乗介助している時に、前方からかかえ上げ介助をした時に、ご入居様の身体が背後にのけぞりつぱった状態となり腰に強い負荷がかかった。	34	500~ 999
7	6~7	施設内3階リビングのソファにて入居様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	30~ 49
7	6~7	施設内3階リビングのソファにて入居様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	30~ 49
7	19~20	組み立てのラインに部品の供給作業を行っていたら自動運搬台車が間違えた所を走行していたので止めようとして2段あるステップを降りて歩いたときに左足のふくらはぎに激痛がはしり負傷する。	43	100~ 299
		工場塗装工程にて、620mm×520mm厚み3mm重量3キロほどの製品をパレット		100~

7	14~15	から塗装するため治具に引っ掛ける際、作業自体に非定常作業はなかったが製品の大小があり疲労が蓄積され筋を痛めた。	48	299
7	13~14	訪問先（集合住宅）から敷地内の営業車に戻る際、敷地と路面との段差に気付かず左足をひねり負傷した。	46	100~ 299
7	16~17	ビンの蓋を両手で閉める作業に従事。両手首に痛みが生じ、後日激痛が走った。作業量：1日150~200本。	32	300~ 499
7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため、左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	30~ 49
7	11~12	特別養護老人ホーム3Fホールで昼食介助の準備中に利用者からまぶしいのでロールカーテンを閉めてほしいと言われ、南窓のロールカーテンを下げるためのひもを引こうとしたが、届かなかったために15cmほどジャンプをしてひもを取り、引いた。着地をした際に腰に重心がかかり違和感を感じたが、痛みがなかったため、残りの作業をして帰宅した。	68	100~ 299
7	9~10	工場内にてゲージ（約5kg）を移動させている時に、突然背部に痛みを感じた。普段と違う作業をしたため。	37	100~ 299
7	6~7	工場内にて、トラックからフォークリフトでパレット積みポリ箱製品を台車へのせ、5台連結させて後ろ向きで2歩程度引っ張った際に腰を痛めた。	39	100~ 299
7	21~22	煮豆ホッパー洗浄作業中、ホッパー底部を洗浄するために、ホッパー本体を下部分台車より外そうとした際に右手首を捻って痛みが走った。痛みは酷くなかったので、作業継続可との自己判断（社員へ報告無し）にて、勤務を継続し、退勤した（実働5時間15分）。翌日午後、右手首に痛みが残っていた。	55	300~ 499
7	16~17	油圧ショベル部品ベースフレームライン溶接P4作業場にてフレーム製作中、次の作業に移る際、乗っていた作業リフターから踏み台に降りる時に左足を踏み台に下ろし、右足を下ろしたが踏み台がない中央部のレールがある箇所を下したため、バランスを崩し落下し、右足首を被災した。	46	10~ 29
7	2~3	派遣先作業場にて、材料を床から機械に補充するため持ち上げた時、腰に激痛を感じた。	24	300~ 499

7	10~11	不用品のメッキ部品が入っている箱を持ち上げた瞬間、電気が走ったように腰が痛くなり、動けなくなった。シップを貼ったが改善されず。箱の重さは5kg前後、二段重ねになっている上の箱を持ち上げる際に中腰になってしまったことが原因。	42	500~ 999
7	9~10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	100~ 299
7	10~11	倉庫内において、商品運搬作業をするためにフォークリフトを移動させプラットナーから降りる際、無理な体勢で降った為足首、ひざを捻って転倒し負傷。	34	100~ 299
7	10~11	炉の出側で製品から治具を外し、箱に入れた後に前工程に治具を返すため、カゴティナーに箱を積み替える際、6段目の治具入り箱を積んだときに左肘に痛みが発生した。	30	50~ 99
7	16~17	社内倉庫で書類を探していた際、書類が入ったダンボール（A4、500枚束×10束）を足元から持ち上げたとき、腰に痛みがはしった。	42	500~ 999
7	14~15	オフィス内のサーバールームで、保管してあるサーバーに付いている番号を書類と目視で確認した。不安全な環境ではないが、サーバーがたくさん保管しており、高所にもサーバーがあるため、上を向いて目視する場合もある。当日は、作業が長引いたので長時間上を向く作業姿勢をとっていたため、首に負担がかかった。	37	500~ 999
7	9~10	被災者は、請負現場である倉庫内で荷卸し作業に従事していた。コンテナからパレットへ段ボール（5~6kg）を降ろした際、腰をひねって痛めてしまった。現場責任者に確認したところ、扱っていた荷物は1~2kgで、無理な体勢を取ったり、業務負荷はなかった模様である。就業から1時間で痛みを訴え、そのまま歩いて早退した。	61	50~ 99
7	8~9	利用者を追いかけていた際、目の前に椅子があったため、中腰で椅子をどかさうとした際に腰に痛みがはしり、そのまま立てずにしゃがみこんだ。	45	10~ 29
7	9~10	派遣先薬局で、配送されたコピー用紙（A4、500枚×10冊入、約20kg）の段ボールを運んでいた。薬局の廊下に下ろそうとしてしゃがんだ時とき、腰に痛	38	50~ 99

		みがはしり受傷した。受傷後、痛みはあったが終業時間まで勤務した。		
7	9～ 10	工場内において、縦型仮置ラックに完成品を置く作業中、右膝でガラスが倒れるのを防ぎつつ、保護用の紙を挟んでいたところ、ガラスが倒れそうになった。足で支えようとしたが、右足が滑ってラックの隙間入り、右足を捻ってしまった。その際に右アキレス腱が伸びてしまい、約2週間の治療が必要となった。	22	100～ 299
7	13～ 14	高さ80cmの所に置いてある、材料の入ったダンボール箱（1辺40cm前後のほぼ立方体、重量6kg程度）を、使用材料置場へ移動させようとしたときに、左肩と腰を痛めた。	45	100～ 299
7	17～ 18	構内にて、荷物の入ったコンテナを移動中に置き場所に迷い、中腰の上体を続けていたところ、腰に痛みを感じた。	67	100～ 299
7	14～ 15	デイケアフロア内で利用者の中で、レクリエーションとして、スタッフと腕相撲をしていて、左腕を骨折した。	35	50～ 99
7	8～9	ホテル出発直後、バス車内にて朝の挨拶終了後、着席する直前のタイミングでの急ブレーキにより、前方に転倒し、右手薬指を負傷した。	52	50～ 99
7	15～ 16	介護施設での介護業務に従事中に発生したものである。施設入居者の排泄介助が終わって、自身の左側にある車椅子に便器から移乗させようとした際、全く力の入らない入居者の全体重を支えることによって、自身の膝に負担がかかり、支えながら方向を変えるとき、左膝を捻るような体勢となったところ、左膝を負傷した。	41	500～ 999
7	20～ 21	派遣先の貨物仕分け上屋C棟にて、荷物の入ったCMP（台車）を押し移動させようとして、両足を踏ん張ってCMPを押し始める際に、右足が背後のCMPの下部に当たった状態でさらに力を入れたところ、足首を捻り負傷した。	39	30～ 49
7	21～ 22	ドライバーの挿口において、敷定板をリフターに2枚重ねて載せる際、敷定板がずれてしまい、それを不安定な体勢のまま右足で押したときに、右足のふくらはぎに肉離れを起こした。	51	100～ 299
	15～	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指		50～

7	16	に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していたが、痛みには耐えられなくなった。	37	99
9	10～ 11	被災者は、営業所の施設敷地内で、トラック荷扱（トラックの荷台（高さ約70cm）に昇降して検査用の米を採取する作業）中に、トラックの荷台から降りる着地時に左足を骨折した。	44	50～ 99
9	14～ 15	商品の棚出しのため、入荷した商品のダンボールを運んで下す作業をしている際、腰に痛みを感じた。	41	100～ 299
9	14～ 15	派遣先の1階工場内作業現場で、ロボットアームのモーターの螺子締めと検査を行い、その後当該モーター（5kg程度）を脇の箱に移す作業を繰り返し行っていたところ、左腕に腱鞘炎を発症したものである。	31	30～ 49
9	13～ 14	しゃがんでチョコレートの廃棄物を段ボールに捨てる作業を終え、立ち上がった際、右膝に痛みが走り、そのまま痛みが引かず膝を曲げることが困難となる。	55	300～ 499
9	10～ 11	石畳の上をパンプスを履いた状態で歩く業務を継続して行ったことで、疲労が蓄積し怪我に至る、骨に異常はないが足首関節の炎症、水を持って腫れている状態となり湿布とサポーターで療養した。	39	10～ 29
9	11～ 12	保育園の2階ホールで、障がい児を1名保育していた時に発生する。障がい児を巧技台とマットで遊ばせようと思い、マット整理ワゴンから掛けてあったマット（90×180×厚さ5m、重さ10kg）を出そうとした時バランスをくずす、よろけてしりもちをついた時にマットを両手に持っていたので、そのまま左手肘を床につく形となる。	22	1000 ～ 9999
9	14～ 15	棒材の束（1本5kg、7本）を床から切断機に上げるのにクレーン使用するが、棒材の束のひもが堅くクレーンのフックにかからないので、隙間を作るため棒材を持ち上げた時に、腰足の付け根を痛めた、1週間ほどガマンして仕事に出ましたが、痛いので病院に行った。	42	10～ 29
9	22～	エンジンから冷却水用ホースを取り外す作業を行っていた。パイプとホースが固着し、抜けにくくなっていたため、ホースを両手で持ち全体重をかけて引っ	47	100～

	23	張った所、ホースが抜け、姿勢のバランスを崩し、後方に転倒しそうになり、右足を踏ん張った際に痛みが走った。		299
9	10～ 11	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に、右手でナイフを持ち力を入れた所、ナイフの刃が滑り、右中手指関節を捻挫した。	36	300～ 499
9	11～ 12	味噌詰めした箱を移動させている作業中に痛みが出て来ていたが、作業が一段落したときに激痛が走り、動けなくなった。	46	100～ 299
9	14～ 15	派遣先本社4階倉庫内にて、中間決算の棚卸し作業中、ゴルフボールやマグカップの入ったケース（17.5kg）を棚から床へ降ろそうと手前へ引き出した際に、想像していた以上の重量が腰へ一気にかかり、ぎっくり腰を発症した。	38	500～ 999
9	14～ 15	トイレ介助作業中、利用者の方に手摺を掴んでもらい、利用者を立たせた状態で介助をしていた際、利用者が下がったため両手で利用者の臀部を支えて押し上げた時に、右手首に痛みが走った。	47	300～ 499
9	11～ 12	車庫構内にて、コンクリート杭の荷役作業をしていた。コンクリート杭の置場にあるバタ角の上に足をのせたら、雨で濡れていて安全靴を履いていたが、滑ってしまい、左足首を捻った。	36	1～9
9	9～ 10	派遣先の営業所の倉庫にて、荷物を積みやすくするために、床に置いたパレットからフォークリフトのパレットに梱包された住宅用タイルを積み替えしていて、タイルを持ち上げたとき、バランスを崩して腰をひねってしまい負傷したものである。	32	10～ 29
9	11～ 12	工場内の3階にある製造ロケーションにおいて、業社専用の製品の入った通い箱（80×45×65cm）を搬入作業中、棚の枠に通い箱が上手く入らず、抱えた状態で身体を捻った際、違和感が生じ、ぎっくり腰を起こしたものである。	33	10～ 29
9	11～ 12	納品作業時、トラックへ荷物を積み込む際、米（パックごはん）が積まれたバツカンがゲートにすべて積む際に、7～8段積みのもを一気に積み込み、腰を痛めてしまった、当日終業後に、普段通っている整体院に行って診療中に歩けない程の痛みになった。その日は何とか家に帰り、翌日朝起床時に、立ち上がれない程の痛みであった為病院へ行き、医者から「ヘルニア」の為、3～4日	41	30～ 49

		の入院が必要との診断を受けた。後日、腰椎捻挫の診断を受けた。		
9	10～ 11	携帯電話の試験工程において、ベルトコンベアで運ばれてくる携帯電話を手に取り、コンベア奥に設置してある試験設備（身体から30cm程度離れている）に出し入れをしているとき、腰を痛めた、この時に突発的な原因があった訳ではないが、ベルトコンベアと試験設備の高さ約80cmに対し、身長が180cmと高いために、前屈みでの継続的な作業が腰に負担がかかったため、腰痛症を発症したと思われる。なお、試験工程作業は、入社以降、2、3日に1回の頻度で担当しており、1日の就業時間中に3回の休憩があるが、姿勢を整えるなどのために随時その場を離れることも可能な環境であった。	37	1000 ～ 9999
9	15～ 16	工場内仮設事務所にて勤務、少し離れた屋外に仮設トイレがあり、雨で土砂降りだった為、トイレの段差をおりる際に滑り、左足をひねった状態で着地、その後、腱かじん帯傷との診断を受けた。	40	100～ 299
10	13～ 14	午前中の作業が終わり、昼休憩で食事を摂るため、作業場からバックヤードを歩いて休憩室へ移動中、足を挫いてしまった。床は乾いており、段差や荷物がないことから、本人の不注意により発生した。事故発生後、すぐに痛みは感じず、午後の作業を終え、徒歩で帰宅途中に少しずつ痛みを感じ始め、帰宅後は傷病部が赤く腫れ、痛みを伴った。右足関節靭帯損傷と診断された。	64	100～ 299
10	14～ 15	特別養護老人ホームの浴室にて入浴介助の為、ご利用者をベッドから車椅子へ二人介助にて平行移乗を行う。ご利用者を降ろした際に腰部に異音があった。いつもとは、まるで違う違和感を抱いた為、安静にし、クーリングにて様子を見るも次第に激しい痛みで身動きが取れなくなった。	33	50～ 99
10	16～ 17	ネットスーパー作業室でピッキングの作業中、折りたたみコンテナ（5個重ね、約17.5kg）を床上15cmから持ち上げようとした時、腰に激痛が走った。	75	100～ 299
10	13～ 14	派遣先にて午後からの勤務に戻る為、作業服に着替え現場へ徒歩で向かう途中、突然腰に痛みが出て動けなくなった。発生日の午前中は原料の開梱作業（ダンボールの箱開けや、商品の積み替え）しており、原料の重さは2kgから10kgで、その場で移す、乗せる、積み替える作業で、運搬は台車等を使用していた。	28	100～ 299

10	20～ 21	調理場から6m程はなれた、パントリーホール用の水道にて、両手鍋（直径40cmほど）に水を9割入れ、調理場へ戻る際に首と腰を痛めてしまった。	49	50～ 99
10	16～ 17	訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。	36	100～ 299
10	14～ 15	ダンボール箱からパスタを取り出し、貼り付け、貼り付け作業を終えたパスタを元のダンボール箱に戻し、その箱（約16～18kg）を持ち上げ、並行した別のレーンに移す際、落下しそうになり持ち直そうとしたところ、右肩から肘にかけて痛みが走った。	51	100～ 299
10	10～ 11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2～3段踏み外した。バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	50～ 99
10	16～ 17	被災者は当日、OG事務所にて、ワッシャー・ボルトの仕分、ピッキング作業にて派遣就業。自動車エンジン部品のピッキング作業時、高さ100cmの棚からボルト約80本（2～3kg）をカートが一番下に載せた時に腰に痛みが走る。当日以降、契約期間だったため、痛み止め薬・湿布などをして様子を見ていたが、痛みが治まらないため病院へ。当社への報告は後日。棚から商品箱を床におろす作業を繰り返しており、腰への負担が毎日あったことが原因と考えられる。	68	30～ 49
10	12～ 13	被災者は当日の派遣先にて10kg程度の箱を運ぶ軽作業業務に従事していた。開始から数時間後、商品を玄関先から運搬を行った際、腰に痛みを感じたが勤務を続けていたところ、さらに数時間後、後ろにおいてあった入荷直後の商品ダンボールに腰部をぶつけ、衝撃を受けるような痛みを感じた。痛みを我慢しつつ、仕事を継続したが、5日後には立ってられないほどの痛みになり、接骨院へ搬送され、腰部捻挫と診断された。原因は不慣れな作業で腰に負担がかかる状態が継続したことによると思われる。	44	100～ 299
10	15～ 16	体重のある利用者様を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	100～ 299

10	10～ 11	工場内で旋盤の切り粉を台車に乗せ、切り粉保管場に移動中工場内のスロープで足が滑った際、右腰に痛みを感じた。	68	50～ 99
10	11～ 12	派遣先事業所の倉庫内で、商品を台車に積んで移動する作業中に右腕に負荷がかかり肉離れを起こした。	34	10～ 29
10	4～5	工場成型工程の成型機323号機にて、生タイヤ台車（縦約1800mm×横約1500mm×奥行き約2500mm、重さ約300kg、タイヤ24本積、車輪4個）を作業スペースまで移動（約2m）しようとして引張った時、腰に痛みを感じた。（引張り力は、静荷重約10kg、衝撃荷重約15kg、工場による調査）	43	100～ 299
10	14～ 15	冷蔵庫売り場で冷蔵庫商品の入れ替え作業時に、本人を含め計2名で、倉庫に収納する冷蔵庫を台車にのせて搬出する際、冷蔵庫の置き位置が台車の中心からずれていたため、冷蔵庫の位置を変えようと、立位にて、冷蔵庫の側部角を持ち、引き寄せたときに痛みを感じた。その後、腕が上らなくなった。	69	100～ 299
10	15～ 16	作業現場でサンテナを3つ重ねて台車で運んでいるときにサンテナが崩れ落ちそうになり、支えようとしたときに足を捻った。	49	300～ 499
10	5～6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	300～ 499
10	9～ 10	派遣先の病棟にて、オムツ交換をしていたところ、体位を変える必要があったため、自身の身体の向きを変えた際、右ふくらはぎの肉離れを起こした。	51	50～ 99
10	10～ 11	介護施設内にて利用者を車椅子からトイレへ移乗する介助中に発生。利用者は介助度が高く、移乗する際は被災者を含め2人で介助していた。被災者はトイレ介助をしようと、車椅子からトイレの便器に座らせるため、利用者を立たせ、被災者は中腰になりズボンと紙おむつをひざ下まで降ろし、中腰のまま利用者を正面に向かせようとしたところ、腰を右方向に強く捻ってしまった。	59	300～ 499

10	9～ 10	物流倉庫内で作業を始める準備をしていた際、折りコンを乗せるキャスター付の枠組みに誤って右足が乗ってしまい前に進んだため、止めようと左足に力を入れた際、足を捻り左足の靭帯を痛めた。	47	50～ 99
10	10～ 11	営業所にて荷物を運ぶ作業中に部品の入った段ボールを持ち上げた際に腰に痛みが出た。（重量14.4kg）（規定で女性は15kg以上は一人では持てない）	26	50～ 99
11	20～ 21	新聞を届け自動車が1台とまっている車庫の狭い横を通り抜けようとした際、右足を石にぶつけ脚を痛めてしまった。	22	300～ 499
11	10～ 11	研修のため、研修先に向かおうと自宅からバス停へ歩いている際、躓き、カクンとなったので右足を伸ばした、その後から足を引きずるようになった。	47	10000 ～
11	5～6	入出荷フロア1Fにて仕分作業中、床に置かれている商品を取る際に腰を屈め、膝を落とし上下する作業等を繰り返し行っており、腰、左足全体に異変を感じ通院し、療養中である。	45	100～ 299
11	9～ 10	就業先から営業エリア先へ向かう途中、地下鉄の駅改札付近でホーム行きのエレベーターに乗ろうと急に小走りを始めた際、左膝を負傷した。	55	1000 ～ 9999
11	7～8	利用者様の部屋で朝食の為にリビングへ利用者様を移動させようとし、2人介助のため2人で介助した際に腰を痛めた。（車椅子への移乗の際）男性の利用者様で体格も良く、80kg以上ある方だったため、腰への負担が強かった。	33	500～ 999
11	9～ 10	業務用エレベーター部材輸送業務中、トラックの荷台にて積み込み作業をしている際、工場担当者より、荷物に書かれた品番の確認を求められ、金属部材の入ったプラスチックコンテナを少し持ち上げ、ずらす動作を行った時に、腰を痛めた。	46	1～9
11	4～5	勤務中、部品の入ったプラスチック製のコンテナを持ち上げた時に、脇腹に痛みを感じてその場にうずくまった。痛みがあったが、そのまま勤務を続けていたが我慢できなくなり後日、診療を受けたところ右肋骨骨折をしていた。	46	100～ 299
11	15～ 16	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に左手でナイフを持ち作業していたところ、左手に力を入れたところ、ナイフの刃が滑り、左手関節を捻挫し	36	300～ 499

		た。		
11	14～ 15	トラックの荷台にてタイヤ運搬中に発生したものである。ホイールタイヤ（重量40kg程度）を起こす作業の際にバランスを崩し左膝を捻る。激痛がはしり、その後走る事が出来ない状態であったが、その日は業務をこなす。翌日になっても痛みが治まらず欠勤となる。その後2日間は休日のため様子を見たが状況が変わらず、次の日に通院し左膝関節捻挫との診断を受ける。また膝に水が溜まっているとのことである。就業不可となったその後に首・腰・肩にも痛みが生じた。	49	50～ 99
11	23～ 24	当社派遣先の被災者が成形課アニール作業エリアにて、アニール製品取り出し用の昇降台車から運搬用平台車に製品を乗せ換えるため同僚と二人で合図しながら約50kgの製品を運搬用平台車に乗せる際、腰を曲げる姿勢を取ることとなった。定常的に行われている作業であり、被災者は特別に不安全とは感じることなく、作業を行ったところ、以前から腰に若干の痛みはあったが、この作業を発端に腰部の痛みが激しくなり、夜勤であったことから早退したが当日は病院の受診をせず、翌日の受診となった。	35	30～ 49
11	9～ 10	派遣先にて、化粧パネルの加工作業に従事中、木材（446mm×1800mm×15mm、重量約1kgの板）を切断機で切断加工後、板を作業台（高さ約700mm）に置いて体を起こした時、腰部に強い痛みを覚えた。直ぐに整形外科で受診したところ、腰部挫傷と診断されたものである。	32	100～ 299
11	21～ 22	グラインダーを使用しアルミに付着したボンドを除去する作業をしていたところ、回転時の振動が大きくなり左腕に負担がかかり左腕に痛みと痺れを発症した。	52	10～ 29
11	10～ 11	ご利用者（女性）が水分補給をする為、車椅子への移乗介助を行った際に腰に痛みが出た。当日はそのまま勤務を行い、翌日は自宅療養していたが、痛みがひどく、後日病院を受診した。	51	300～ 499
11	14～ 15	工場内第2組立課のリアサス搭載工程で、トルクレンチを使用してボルトの締め付け作業を行っている時、トルクレンチをしっかり握っておらず手を滑らせて親指をひねり捻挫した。	23	100～ 299

11	10~ 11	倉庫内で商品の返品作業中、オリコンを持ち上げてパレットに降ろした瞬間に腰に激痛がはしり、作業が出来なくなった。	52	300~ 499
12	12~13	派遣先の自動車シート製造工場で、ウレタンに車のシートのカバーを貼り付けて固定する作業に従事していたが、2週間程度で手と腕に筋肉痛が発生し、右腕に違和感が発生した。初めて受診した病院では原因がわからず、5箇所目の病院で初めて右肘の疲労骨折と診断され、手術をした。	30	50~ 99
12	10~11	工場の仕上げラインで、番重を台車から下ろして品物をラインに流す作業中、右手を痛めた。	52	50~ 99
12	12~13	入浴介助の為に利用者を抱きかかえた際に、強い痛みがあった。当日は痛みを我慢し仕事を終えたが、翌日、痛みが引かず受診した。	31	100~ 299
12	9~10	1系焼却設備、反応助剤カートリッジ交換作業後、確認のため、床に敷いてあったブルーシートの上で、二段脚立に足をかけたところ、脚立から踏み外して転倒した。	26	30~ 49
12	15~16	一般家庭ゴミの回収作業の動作によるパッカー車への乗り降り・積み込み作業が原因による腰の痛みと左膝の痛みが発生した。	56	300~ 499
12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足を掛けたため踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	1000 ~ 9999
12	15~16	入居者を車椅子からベッドへ移乗する際、入居者の両脇に自身の手を差し入れて持ち上げた瞬間に腰に痛みが走った。	42	300~ 499
12	18~19	就業先の利用者居室にて、利用者を食堂へ連れて行くためベットから車椅子へ移動しようとしたところ、利用者が急に仰け反ったため腰に激痛が起こった。激痛が起こった後、めまいがし動けなくなってしまい、その後腰の痛みが強くなった。	53	100~ 299
12	10~11	勤務先施設内で、経管栄養をする為、ベット上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	30~ 49
		派遣先の食堂厨房内において、開店準備をする際、厨房内を移動中、側溝の金		

12	5~6	網の上で左足が滑り、転ばないように力を入れたところ、左足首を捻り負傷した。	66	100~ 299
12	14~15	客先正門付近にて営業活動で歩行中、道脇の段差を踏み外し、左足踝辺りを損傷した。	37	100~ 299
12	10~11	派遣先にて、部品にハンドラップを使用して手首を捻りながら梱包する作業を行っていた（部品の重量は5kg~15kgと様々）。しばらくして両腕に痛みが出始め、その後、痛みが酷くなり病院に行き、頸肩腕症候群と診断された。3年前に首の神経を痛めており、今回、手首を捻りながら作業したことで首にも負担がかかり、痺れが出たのではないかと診断された。	41	100~ 299
12	11~12	事業所工場内において機械清掃中、上部に登るため機械に足をかけたところ、不安定だったためにバランスを崩し、上部にあったパイプにつかまった際、右肩を負傷した。	52	100~ 299
12	13~14	段差（7~8cm）がある場所で、家具の搬入・搬出作業中に、段差に気づかず、左足を段差にのせて歩こうとしたところ、右足も段差にのせなければと焦ってしまい、左足に全体重がのったため、左足を捻って骨折した。	24	1~9
12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	50~ 99
12	23~24	センター内で、ベルトコンベアの上にブルーボックスをのせ、貴重品横の置き場へ移動しようとした際、ベルトコンベアを渡る板の上を歩行していたところ、地面との段差に気づかず左足を踏み外し、左足首と膝を捻った。	37	100~ 299
12	15~16	派遣先工場内でパック詰めのお餅を冷凍庫へ移動するため、トレー（縦50cm、横30cm、高さ10cm、重さ約2kg）に並び入れて、台車に19段積み上げる作業を連日していたところ、腕が段々と痛くなり、病院で右上腕2頭筋断裂と診断された。	49	100~ 299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html